

資料 1

議事

施策等の進行管理

事務事業の外部評価説明 についての解説文

「議事 令和4年度 施策等の進行管理」の「事務事業の外部評価」について説明します。

資料 1「令和4年度 事務事業外部評価（案）」をご覧ください。

前回（7月）の第2回経営協議会で、第4次中期経営計画に搭載されている

令和4年度の事務事業の自己評価をお示しました。

これに対して、委員の皆様から頂いた意見・評価をまとめたものがこの資料です。

資料の1ページ目をご覧ください。

記載内容については、ページ上段の点線枠で表示している記載例のとおり、

左から、各事務事業の上位項目にあたる「政策・施策名」の記載、次に第2回経営協議会で示した

「自己評価」が記載されています。

そして、委員の皆様から協議会後に提出いただいた、「事務事業外部評価意見記入用紙」の内容を記載したものが、次に示す「外部評価（各委員の評価）」及び「外部評価 まとめ（案）」となります。

「外部評価（各委員の評価）」は、各事務事業に対する委員意見のすべて記載したもので、ページ上部の記載例のとおり、数種類のパターンの下線を引き、分類を行っています。

いただいた意見のうち、皆様の意見を代表していると思われる意見を「外部評価 まとめ（案）」を構成する「主な意見」として太い下線で示し、

事務事業の評価を構成する意見ではないものの、評価方法や評価基準等について言及している意見を「その他意見」として波線の下線で記載しています。

また、意見のうち、質問として事務局からの回答がある意見を「質問等にて回答」と二重線（文字斜体）で記載し、資料4「各事務事業に対する質問等への回答」にて回答しています。

最後に、一番右の「外部評価 まとめ（案）」については、黒枠内が委員の評価と意見をまとめたものです。極力委員の皆様からのご意見の文章を引用しておりますが、ご意見の少なかった事務事業については、まとめ文章として定型文や過去の評価報告書等の文章を参考に加筆修正しております。この内容で外部評価が決定となるため、委員の皆様の評価が反映されているか確認をお願いします。

①

②

③

④

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ（案）
3 環境への負荷を軽減する。 (2) 温暖化対策	<p>① 自然エネルギーの活用 「水道施設課」 [b 評価]</p> <p>自然エネルギーの活用について、令和4年度計画どおり「発電設備導入方針決定」を実施した。 具体的には地熱利用による温空効果ガス排出量の低減策として、既存水道施設の休止中の井戸を設備冷却に活用することとした。 また、再生可能エネルギー利用率は、令和4年度計画「0.16%」に対し「0.11%」の実績で、達成率は81.3%となった。次に温室効果ガス排出低減量は、令和4年度計画「103 t」に対し、「63 t」の実績で、達成率は61.1%となった。2つの成果指標を勘案し、「b」評価とした。</p> <p>（「a」以外となった理由等） 南宮配水場の太陽光発電設備は修繕実施の検討をした結果、設備の総取替（更新）が必要なため、修繕を実施せず、現在の発電体制を継続することとした。よって、自家消費する再生可能エ</p>	<p>① 自然エネルギーの活用に対する評価 委員 13 名のうち、[b 評価] 13 名</p> <p>・内部評価と同様の評価とよい。 ・何か抜本的な改革が必要なのではないかと感じています。新たな自然エネルギーの導入可能性の検討に力をいれて欲しい。 ・詳しくわからない分野ですが、自然エネルギーの活用に関しては、もっともっと大学・企業とコラボして欲しいと思います。</p>	<p>[b 評価]</p> <p>自然エネルギーの活用について、計画をやや下回っている。 新たな自然エネルギーの導入可能性の検討におお一層努めてほしい。 また、今後の導入に際しては、費用対効果を踏まえて検討を行うよう努めること。</p> <p>（その他の意見） 自然エネルギーの活用に関しては、もっともっと大学・企業とコラボを検討してほしい。</p>